

となった。また築地塀や規則性の高い建物配置などから、上町遺跡は白河郡衙の「郡庁」として機能していた遺跡であり、関和久遺跡は「正倉」としての役割を担っていると考えられるに至った。また、上町遺跡南側の福蔵地区からも建物跡・井戸跡などが検出されており、関和久・上町両遺跡と密接に関わる地区であることが判明した。

(4) 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

- ① 第19回福島県埋蔵文化財発掘技術者講習会
 - 期間 平成3年8月1日～8月3日
 - 会場 白河市地域職業訓練センター
郡山市 猫田E遺跡
 - 人員 56名
 - 内容
 - ・開発と埋蔵文化財の保護
 - ・遺跡発見から発掘調査まで
 - ・講演 「埋蔵文化財の保護・活用における最近の傾向と問題点」
文化庁文化財保護部記念物課
岡村道雄調査官
 - ・発掘調査実習 猫田E遺跡(8月2日～3日)
- ② 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター主催
埋蔵文化財発掘技術者等研修
 - ア 一般研修
 - 一般課程 平成3年7月2日～8月9日
佐藤暢一郎 会津坂下町教育委員会
 - イ 専門研修
 - 遺跡探査課程 平成3年5月8日～5月18日
末永成清 (財)いわき市教育文化事業団
 - 文化財写真課程 平成3年8月20日～9月7日
白岩賢一郎 磐梯町教育委員会
 - 保存科学基礎課程 平成3年10月22日～11月1日
菅野真一 (財)福島市振興公社
 - 水田遺跡調査課程 平成3年11月26日～12月7日
斎藤義弘 (財)福島市振興公社
平野幸伸 会津若松市教育委員会
吉田秀享 (財)福島県文化センター

- 縄文時代遺跡調査課程 平成4年1月8日～21日
安中 浩 (財)福島市振興公社
- ウ 特別研修
 - 城郭調査課程 平成4年2月13日～2月18日
山岸英夫 (財)福島県文化センター

(5) 埋蔵文化財保護の普及活動

- ◎埋蔵文化財調査報告書の刊行
 - ① 母畑地区遺跡分布調査報告 16
 - ② 矢吹地区遺跡発掘調査報告 9・10
 - ③ 国営会津農業水利事業関連遺跡調査報告 XI・XII・XIII・XIV
 - ④ 三春ダム関連遺跡分布調査報告 2
 - ⑤ 東北横断自動車道遺跡分布調査報告 3
 - ⑥ 東北横断自動車道遺跡発掘調査報告 12・13・14
 - ⑦ 原町火力発電所関連遺跡調査 II
 - ⑧ 福島空港関連遺跡発掘調査報告 IV
 - ⑨ 一般国道6号バイパス遺跡分布調整報告 I
 - ⑩ 関和久上町遺跡 X

(6) 埋蔵文化財周知事業

平成3年度から平成6年度までの4カ年計画の事業であり、県下全域を対象として、より詳細な分布調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の実態をより正確に把握し、その周知徹底を図るとともに、文化財保護の基礎的資料として「埋蔵文化財包蔵地分布図及び地名表」を整備する。

本年度は、県北・県南・南会津の3地区について実施し、およそ3,500箇所埋蔵文化財包蔵地を確認し、台帳等を整備した。

(7) 県内の発掘調査状況

発掘調査(試掘調査を含む)の原因別・方部別件数は、下表のとおりである。原因別では、農地開発・道路建設を含む土地開発等土木工事が上位を占める。

平成3年度発掘調査件数 (平成4年3月)

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
農業関係(国・県・団体)		12		14	1	7		34
都市計画等	17	2	2	1		1		23
道路建設	7	43		2		10	12	74
河川・ダム・空港	6		2					8
宅地造成等	5	13	5	1		6	3	33
学校建設	1			1				2
その他の建物	5	1	1	3	1	3		14
電気・ガス・水道等						9		9
ゴルフ場・土取り	6	1	4				2	13
その他	8	2		4		6		20
学術調査		1	1	3	2	1	1	9
計	55	75	15	29	4	43	18	239

発掘調査件数239件の内訳は、県教育委員会が実施したもの47件、市町村教育委員会が実施したもの192件です。なお、事前協議のため試掘調査は、140件です。